

平成30年度

# 運営に関する計画・自己評価

大阪市立夕陽丘中学校

## 平成30年度 教育指導の計画

### [学校運営の重点]

「生きる力」を育む感動ある教育活動を推進し、思いやりあふれる学校をめざす。

### 重点目標

心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓く力を育成する。

### 《具体的方策》

1. 基礎的・基本的な内容の確実な定着と、生徒の活発な意見をもとにした学習活動を充実し、自ら考え、意欲的に解決する力を育む。
2. 豊かな体験的活動を通して、個性を尊重し、互いに支えあう集団の育成を図り、思いやる心や感動する心を育む。
3. 自らの健康や体力に関心をもち、健康でたくましい心身を養い、自律的な生活習慣や態度を育む。
4. 今日的課題に対応する教育を充実させ、自らの判断で、生きるべき道を選択し、決定するとともに、社会の変化に的確に対応できる力を育む。
5. 元気アップ地域本部と連携して、地域・保護者の学校支援体制を構築し、家庭や地域の教育力を活かした教育活動を進めるなかで、地域行事への積極的な参加とともに、地域の一員である自覚と感謝する心を育む。

### 《努力目標》

何ごとも「心」をこめて行動しよう。

1. 気持ちよく挨拶のできる生徒
2. 心をこめて人の話の聞ける生徒
3. ルールやマナーを守る生徒
4. 自らすすんで掃除をする生徒

## 1 学校運営の中期目標

**現状と課題**

## ○現状

- ・学校運営の重点を「『生きる力』を育む感動ある教育活動を推進し、思いやりあふれる学校めざす」と設定し、非常に落ち着いた状況で教育活動を進めることができている。ほとんどの生徒は基本的な生活習慣を身につけているとともに、規則・規律を守ろうとする意識が高い。
- ・学力の状況は、全国学力・学習状況調査を経年で比較すると、ここ数年は全国平均程度や全国平均以上の平均正答率を保っている。しかし年度によって結果にばらつきがあり、安定して伸びてきているとは言えない。また、学習内容が十分に身につけていない生徒が少なからずいるという現状がある。
- ・「人の気持ちがわかる人間になりたい」と思っている生徒の割合は90%を超えている。
- ・「学校行事や清掃活動に自主的に取り組んでいる」と思っている生徒の割合は85%程度となっている。
- ・体力の現状は、全国体力・運動能力、運動習慣調査を経年比較すると、全国平均並みか、やや低い状況にある。平成29年度は、ハンドボール投げが、男子は全国平均を上回ったが、女子は若干下回った。一昨年度まで毎年全国平均を下回っていたのは、都心部での生活のため、幼少期より投動作を含むような遊び・運動をしていないことが要因と考えている。今年度は投げることを意識して指導したこともあり、若干であるが良い結果につながった。
- ・学校協議会においては、教員が授業で工夫を凝らし学習指導に取り生んでいる点や様々な取組みに時間をかけて丁寧に準備している点について、高く評価されている。

## ○課題

- ・各教科を総じてみると、基礎・基本事項の定着はできている生徒が多いものの、自分の考えを発表するなど表現力を高めることが十分にできていないと思われる。
- ・今後は、引き続き習熟度別少人数指導やICT機器を活用するなどして、個に応じた指導方法の工夫をより一層図り、基礎・基本の定着を徹底させるとともに、資料などを活用して考えを発表する場面や互いに考えを伝えあう場面を取り入れた授業づくりを行う必要がある。
- ・読書を全くしない割合が高く、読書が好きな割合が全国平均より低い。読書啓発をより充実させ、読書習慣をつけ、読む力・書く力をつけていくことが課題である。
- ・生活指導上は落ちついた状況になってきてはいるが、不登校生徒が多いという課題がある。
- ・「自分には良いところがあると思いますか」に対する肯定的な回答割合が全国平均より低く、自尊感情を高めるため、取組みを工夫したりや道徳の時間を研究したりする必要がある。
- ・毎回の体育授業の初めには必ず補強運動を取り入れ、生徒の基礎体力の向上に努めてきている。さらに、各種目の特性を生かしたウォーミングアップや技能習得のためのトレーニングを工夫することにより、運動の楽しさや喜びを味わうとともに、体力の向上をめざしていく必要がある。
- ・運動場・体育館が狭いという現状の中、体育の授業や運動部活動の実施方法をさらに工夫し、生徒が運動に興味を持ち、健康の保持増進ためには運動をすることが大切であることを認識させる必要がある。

## 中期目標

### 【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

#### 《安全で安心できる学校、教育環境の実現》

- 不登校の状態にある生徒の在籍比を 3.5%以下にする。
- 「学校生活のルールとマナーを守るよう心がけている」という項目の肯定的な回答割合を 95%以上にする。
- 「大地震などの災害が起こったときに、どのように行動するかを考えている」という項目の肯定的な回答割合を 80%以上にする。

#### 《道徳心・社会性の育成》

- 「自分には良いところがあると思う」という項目の肯定的な回答割合を 70%以上にする。
- 全国調査の「将来の夢や目標を持っていますか」の項目の肯定的な回答割合を 75%にする。

#### 《地域に開かれた学校づくり》

- 全国調査の「読書は好きですか」の項目の肯定的な回答割合を 75%にする。

### 【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

#### 《子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組》

- 「生徒間で話し合う活動をよく行っていたと思う」の項目の肯定的な回答割合を 85%以上にする。
- ICT機器を活用することにより、学習に対する興味・関心が高まったと回答する生徒の割合を 65%以上にする。
- チャレンジテストの記述式問題の平均点を国・理で 60%以上、社・数で 40%以上、英で 55%以上にする。

#### 《国際社会において生き抜く力の育成》

- 卒業段階で英検 3 級以上の英語力を有する生徒の割合を 70%以上にする。

#### 《健康や体力を保持増進する力の育成》

- 全国体力調査のすべての種目において、全国平均を上回る。
- 「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目の肯定的な回答割合を全国平均以上にする。
- 「体調面での自己管理ができています」の項目の肯定的な回答割合を 83%以上にする。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

### 【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

#### 全市共通目標（小・中学校）

- ①平成30年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。
- ②平成30年度の校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を90%以上にする。
- ③平成30年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を前年度より減少させる。
- ④平成30年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。

#### 学校園の年度目標

- ⑤平成30年度末の校内調査において遅刻生徒の数を前年度より減少させる。
- ⑥様々な体験活動を通じて、生徒の学習意欲の向上や生徒自身が自分の将来について考える機会を与える。
- ⑦読書に繋がる取組みを実施し、「読書は好きですか」の項目への肯定的な回答が70%以上になるようにする。
- ⑧生徒の自己肯定感を高めるための教育活動を実施し、校内調査において「自分には良いところがあると思う」という項目の肯定的な回答が70%になるようにする。
- ⑨休日や夜間など様々な場面における災害時の行動について考えさせる活動を行い、どのような行動をしたら良いか考えている生徒の割合を昨年度より増やす。
- ⑩校内教育アンケートにおける「清掃活動を積極的に取り組んでいる」の項目について、「よくあてはまる（ややあてはまる）」と答える生徒の割合を85%以上にする。

### 【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

#### 全市共通目標（小・中学校）

- ①中学生チャレンジテストにおける標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
- ②中学生チャレンジテストにおける得点が府平均の7割に満たない生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント減少させる。
- ③中学生チャレンジテストにおける得点が府平均を2割以上上回る生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント増加させる。
- ④校内調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、前年度より増加させる。
- ⑤平成30年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、体力合計点で全国平均値を上回る。

#### 学校園の年度目標

- ⑥言語活動の取り組みを学校全体で取り入れ、校内教育アンケートにおける「授業で、生徒の間で話し合う活動をよく行っていると思う。」の項目について「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を80%以上にする。
- ⑦校区小学校と校種や教科を越えた連携を図り、指導法について研修し、相互の授業参観を実施する。
- ⑧すべての教科でICTを活用した授業を実施し、アンケートで「ICT機器を活用することにより学習に対する興味・関心が高まった」と回答する生徒の割合を60%以上にする。
- ⑨校内教育アンケートにおける「体調面での自己管理ができている」の項目について、「よくあてはまる（ややあてはまる）」と答える生徒の割合を80%以上にする。
- ⑩全国体力・運動能力、運動習慣等調査における「保健体育の授業は楽しいですか。」の項目について、「楽しい（やや楽しい）」と答える生徒の割合を90%以上にする。

### 3 本年度の自己評価結果の総括

## 大阪市立夕陽丘中学校 平成30年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した	B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった	D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</b></p> <p><b>全市共通目標(小・中学校)</b></p> <p>①平成30年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。</p> <p>②平成30年度の校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を90%以上にする。</p> <p>③平成30年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を前年度より減少させる。</p> <p>④平成30年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。</p> <p><b>学校園の年度目標</b></p> <p>⑤平成30年度末の校内調査において遅刻生徒の数を前年度より減少させる。</p> <p>⑥様々な体験活動を通じて、生徒の学習意欲の向上や生徒自身が自分の将来について考える機会を与える。</p> <p>⑦読書に繋がる取組みを実施し、「読書は好きですか」の項目への肯定的な回答が70%以上になるようにする。</p> <p>⑧生徒の自己肯定感を高めるための教育活動を実施し、校内調査において「自分には良いところがあると思う」という項目の肯定的な回答が70%になるようにする。</p> <p>⑨休日や夜間など様々な場面における災害時の行動について考えさせる活動を行い、どのような行動をしたら良いか考えている生徒の割合を昨年度より増やす。</p> <p>⑩校内教育アンケートにおける「清掃活動を積極的に取り組んでいる」の項目について、「よくあてはまる(ややあてはまる)」と答える生徒の割合を85%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】いじめ対策</p> <p>生徒会を中心とした、自主活動を充実させたり、各学年でピア・サポート活動を実施したりすることで、生徒ひとりひとりが自ら考え行動し、違いを認め合える集団をつくり、生徒が安全で安心できる学校づくりを進める。</p>	
<p>指標</p> <p>平成30年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。</p>	

<p>取組内容②【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】規則を守らせる</p> <p>生徒会を中心とした、自主活動を充実させ、生徒ひとりひとりが自ら考え行動できるようにする。全校集会や学年集会を通じ、規範意識の維持についての啓発を定期的に行っていく。</p>	
<p>指標</p> <p>平成30年度の校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を90%以上にする。</p>	
<p>取組内容③【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】暴力行為について</p> <p>生徒会を中心とした、自主活動を充実させたり、各学年でピア・サポート活動を実施したりすることで、生徒ひとりひとりが自ら考え行動し、違いを認め合える集団をつくり、生徒が安全で安心できる学校づくりを進める。暴力行為は許さないという立場で、暴力事案について毅然と対応する。</p>	
<p>指標</p> <p>平成30年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を前年度より減少させる。</p>	
<p>取組内容④【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】不登校に関して</p> <p>生徒会を中心とした、自主活動を充実させたり、各学年でピア・サポート活動を実施したりすることで、違いを認め合える集団をつくりを進める。不登校の予兆がみられる生徒に対し、担任を中心とした職員集団で、早期発見・早期対応を行い、新たな不登校生をつくらないようにする。</p>	
<p>指標</p> <p>平成30年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。</p>	
<p>取組内容⑤【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】遅刻対策</p> <p>学期はじめに集会週間をとり生活リズムを取り戻す。毎朝の風紀当番で風紀委員に遅刻の統計をとらせ、風紀カードを発行させる。</p>	
<p>指標</p> <p>遅刻の統計を月1回集計して、風紀だよりの形で発行する。風紀カードに保護者チェック欄を設け、家庭と連携し遅刻を昨年度より減らす。</p>	
<p>取組内容⑥【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】体験活動</p> <p>体育大会や文化祭やクリーンアップ大作戦などの取り組みを全校で協力して行う。また、各学年で、泊行事や福祉体験学習、職場体験などの取り組みを充実させる。</p>	
<p>指標</p> <p>校内教育アンケートにおける「感動・感激する学校行事がある」の項目について、「よくあてはまる（ややあてはまる）」と答える生徒の割合を75%以上にする。</p>	
<p>取組内容⑦【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】読書について</p> <p>本や読書活動への興味・関心を高めるような取り組みを行う。</p>	
<p>指標</p> <p>三学年とも「朝の読書」を実施する。また、学年行事としてビブリオバトルに取り組む。「読書は好きですか」の項目への肯定的な回答が70%以上になることを目指す。</p>	

取組内容⑧【施策2 道徳心・社会性の育成】自己肯定感を高める 道徳副教材の有効的な活用とピア・サポート、体験学習の充実をはかる。	
指標 道徳の授業で、読み物資料を扱う機会を、3年生で12時間、1,2年生で16時間確保する。 教育アンケートの設問「自分には良いところがあると思う。」に対して、肯定的な回答が70%以上になることを目指す。	
取組内容⑨【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】災害対策 2年生の学年の取り組みとして、区役所・消防署等と連携を取り防災学習を実施し、防災意識の高揚を図る。	
指標 災害時の肯定的な回答の割合を80%以上にする。	
取組内容⑩【施策2 道徳心・社会性の育成】清掃活動 毎日の清掃活動と定期的な大掃除及びワックスがけや地域・保護者の協力・参加型のクリーンアップ大作戦を充実させ、美化意識の啓発を行う。	
指標 美化委員会の活動を活性化させ、啓発活動を通じて、美化意識を高めるように指導する。あわせて美化委員会において美化意識高揚についてのアンケートを行い指標とする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

## 大阪市立夕陽丘中学校 平成30年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</b></p> <p><b>全市共通目標(小・中学校)</b></p> <p>①中学生チャレンジテストにおける標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。</p> <p>②中学生チャレンジテストにおける得点が府平均の7割に満たない生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント減少させる。</p> <p>③中学生チャレンジテストにおける得点が府平均を2割以上上回る生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント増加させる。</p> <p>④校内調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、前年度より増加させる。</p> <p>⑤平成30年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、体力合計点で全国平均値を上回る。</p> <p><b>学校園の年度目標</b></p> <p>⑥言語活動の取り組みを学校全体で取り入れ、校内教育アンケートにおける「授業で、生徒の間に話し合う活動をよく行っていると思う。」の項目について「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を80%以上にする。</p> <p>⑦校区小学校と校種や教科を越えた連携を図り、指導法について研修し、相互の授業参観を実施する。</p> <p>⑧すべての教科でICTを活用した授業を実施し、アンケートで「ICT機器を活用することにより学習に対する興味・関心が高まった」と回答する生徒の割合を60%以上にする。</p> <p>⑨校内教育アンケートにおける「体調面での自己管理ができている」の項目について、「よくあてはまる(ややあてはまる)」と答える生徒の割合を80%以上にする。</p> <p>⑩全国体力・運動能力、運動習慣等調査における「保健体育の授業は楽しいですか。」の項目について、「楽しい(やや楽しい)」と答える生徒の割合を90%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①②③【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】学力向上 各教科で授業内容を工夫し、定期的に指導方法の改善を図る。 国語、数学、英語の授業では複数の教師により、きめ細かい指導を行う。</p>	
<p>指標 中学生チャレンジテストにおける標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。</p>	
<p>取組内容①②③④【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】授業力向上 授業で言語活動を活発に取り入れたり、積極的に ICT 機器を利用したりして、生徒が主体的に授業を展開できるような工夫を行う。 個々に研究課題を設定した研究授業を行い、相互に参観、協議する。</p>	
<p>指標 校内調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、前年度より増加させる。</p>	
<p>取組内容⑤【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】体力向上 授業内の補強運動で回数・種目を工夫する。</p>	
<p>指標 毎時間での取り組みを全国体力・運動能力テストの結果につなげる。</p>	
<p>取組内容⑥【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】言語活動 授業で言語活動を活発に取り入れたり、積極的に ICT 機器を利用したりして、生徒が主体的に授業を展開できるような工夫を行う。 個々に研究課題を設定した研究授業を行い、相互に参観、協議する。</p>	
<p>指標 校内教育アンケートにおける「授業で、生徒の間に話し合う活動をよく行っていると思う。」の項目について「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を80%以上にする。</p>	
<p>取組内容⑦【施策8 施策を実現するための仕組みの推進】小中連携 小中連携の会議を計画する。 小中で相互に授業参観できる機会を設ける。</p>	
<p>指標 小学校教員へのアンケートで、様々な小中連携活動は児童にとって有意義であるという肯定的な回答を80%以上にする</p>	
<p>取組内容⑧【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】ICT活用 授業で ICT 機器を活用することにより、学習に対する興味・関心を高める。</p>	
<p>指標 全ての教科で ICT を活用した授業を実施する。</p>	

<p>取組内容⑨【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】体調面の自己管理 毎日の生活の中での手洗いうがいの習慣が身につくよう指導する。</p>	
<p>指標 保健委員会の活動を活性化させ、啓発活動を通じて、健康意識を高めるように指導する。あわせて保健委員会で健康意識高揚についてのアンケートを行い指標とする。</p>	
<p>取組内容⑩【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】保健体育の授業 保健体育の授業で、ICTを用いて生徒の技能改善やできる喜びにつなげる。</p>	
<p>指標 保健体育の授業でタブレットやプロジェクターの映像を見ることで授業に前向きに取り組むことができた、肯定的な回答をする生徒を80%以上にする。</p>	

<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>
<p>次年度への改善点</p>